



あなたのまちのコミュニティ活動情報誌

コミュニティ しずおか

2022
10月
No.168



演奏の楽しさ伝える「地域の楽団」

コンセールギャザー（島田市）

▼8月21日、島田市川根文化センターチャリム21で開催された「第10回自由演奏会in川根」。楽器の種類、技術力、年齢も不問「演奏者が楽しむ演奏会」に約100人が県内外から集まった。主催する「コンセールギャザー」は、10歳代から70歳代までの年齢層で構成される吹奏楽団。地域行事での演奏の他、毎年11月には地元の中学、高校の吹奏楽部、音楽部と合同で「オータムブリーズコンサート」を開催している。「部活動の地域移行の際には、受け皿になれば」と高橋代表。愛好者が集まるだけでなく、地域の音楽活動を支える役割も担っていく。

◇代表：高橋琢也さん（問合せ・090-7307-7135）

【情報提供・村松遼太郎】

Topics トピックス

クローズアップ P2
「住んでよし、訪れてよし」八岳の里づくり（伊豆市）

クローズアップ P6
幼稚園、小学校を応援するコミュニティ（袋井市）



コミック
のりづき・りえ



創意工夫や新しい手法を活かしている団体を紹介します。



上左：多くの有志が参加して12,000鉢の芝を校庭に植栽 上右：3か月後には見事な芝生に
下左：コロナ禍前まで開催していた「おかっこ祭り」 下中：レンゲの里ブランド化事業も行っている 下右：老若男女が楽しんだ映画祭

同じだけど違う？地域資源の活用に挑む 「住んでよし、訪れてよし」八岳の里づくり

伊豆市

やつおか
八岳地域づくり協議会

修善寺駅から伊東へ続く県道12号を車で10分ほど走り、狩野川支流、大見川沿いに広がる里山の田園風景を見ながら一本道を進んだ先にある八岳地域。『“住んでよし、訪れてよし”の八岳の里づくり』をモットーに活動している八岳地域づくり協議会の青田さん、山下さん、三枝さんからコロナ禍で開催した映画祭のお話を中心に伺いました。

住民みんなが協議会の会員です

平成28年11月に「八岳地域づくり協議会」が発足しました。会員は8つの自治会からなる約500世帯の地域住民です。役員26名が核となり、自治会を越えて交流の場づくり、住民の利便性の向上、来訪者を増やす工夫、情報発信等に取り組んでいます。協議会発足前から1番の課題として12年前に廃校になった小学校の存在がありました。

旧八岳小学校を地域の交流の場に！

老朽化が進んだ校舎は借り手がつかず、放置され雑草に覆われた校庭には誰も近寄らない場所になっていました。協議会で「もう一度住民が集まりたくなる場所に蘇らせ、放置されている校舎をどうするか住民皆で考えたい」と草刈りを始め、日常的に「集まりたくなる場所」にするため、令和2年度に校庭の芝生化を提案。見事な芝生の校庭に生まれ変わると、子どもや大人が遊びや散歩の場として利用するようになりました。

コロナ禍転じて「ドライビングシアター形式」

コロナ禍でイベントは中止となり、人手がなくても人が集まれる仕掛けはないかと三枝さんが思いついたのがドライビングシアター形式の映画祭。校舎をスクリーン代わりに活用し、乗車したまま観賞するので、車の中で全てが完結、ゴミも持って帰ってくれるという思わぬ利点も。昨年11月の開催では、65台の車、来場者300人と地域外からも多くの来場がありました。フードトラック14台が出店し、映画鑑賞だけでなく、老若男女が集い楽しんでいる光景を実現できました。コロナ禍にぴったりの発想に「お見事！」の感動と同時に、携わった皆さんの掌中には、挑戦する醍醐味もあると感じました。

今年は10月1日に開催しますが、校舎は2年後に解体する予定で、映画祭もそれとともに終了です。しかし、全面芝生化により生まれ変わった校庭は「住民が集まりたくなる」には変わりありません。「同じ場所で新しいことをしたい」と話す三枝さん。どんな企画を繰り出すのか楽しみです。



映画祭で校舎に映し出される代表



左から：青田さん、三枝さん、山下さん

“同じが違う”って面白い

現在、交流人口を増やすべく地域の皆さんに親しまれてきた萬城の滝に新たなコンセプトを加え「萬城の滝周辺整備事業」の企画書作りに奮闘中。「同じ校庭だが芝生化したことで住民が集う場所になったように今あるものをどう活かすのか。同じだけど違うって面白いと思う」と青田会長。

取材後、隣の校庭から子どもたちの元気な声が聞こえます。見に行くと小学生が草野球をしてました。「芝生は気持ちいいよ」と話す子どもたち。「芝生だからこそ遊びに来てくれる」と山下さん。見つめる眼差しは穏やかで優しく使ってくれることが何より嬉しいことが伝わってきました。

お話を伺い、時代の変化を認めつつも、地域のあるがままを受止める姿勢や先人への敬意、地域への愛着を持つことの大切さを改めて考えました。活動は始まったばかり、楽しいことは住民と一緒に体験しようとする意気込み、やりきる覚悟、個性豊かな発想が上積みされて同じ（八岳）だけど（以前とは）違う新しい八岳地域に変化していくでしょう。『“住んでよし、訪れてよし”の八岳の里づくり』につながることを期待しています。

◇代表：青田守弘さん
（問合せ・080-3629-6768）

【情報提供・伊藤 博】



レポート・海野ふさ子 編集委員

御殿場市

かまど

竈区民の憩いの場「もちやまの里」

竈まちづくり
推進協議会



もちやまの里づくりに励む仲間たち

- ▼竈区内には「もちやまの里」と呼ばれている自然豊かな場所がある。芝生の広がる広い敷地には池や林があり、子どもたちは自由に遊べ、年々訪れる人が増えている。
- ▼この里を整備している「竈まちづくり推進協議会」は、平成30年に環境保全、自然保護を通じ、教育への活用を図り区民の憩いの場にしようと発足。有志からなる団体で30代～80代の47人が活躍している。
「もちやまの里」は私有地。地主さんの協力のもと協議会が管理・整備し、訪れた人に「里」について説明も行っている。私有地なので活動の制約が無く、コロナ禍では行き場を失った子どもたちの居場所になっていた。休耕田で作った野菜を子ども食堂へ提供したり、ブラックベリーを栽培しジャムとして販売することで財源の確保にも努めている。
- ▼「夏場の草刈りは本当に大変」と榊林代表。元気な高齢会員が多いが、若い人を取り込むことは協議会の課題である。活動を知ってもらうため昨年6月にYouTube動画(もちやまの里チャンネル)の配信を始めた。

◇代表:榊林 博さん(問合せ・090-2182-8950)

【情報提供・勝又長生】

静岡市

親子で汗を流そう!～地元中学生と共に37年～

瀬名梶原会

▼大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の重鎮、梶原景時の終焉の地と伝えられる梶原山公園は、静岡市市街地が180度見渡せる景観スポット。その公園の清掃活動を行っている「瀬名梶原会」は、会員81人の地域住民からなる団体で、年に4回の清掃活動の他、景時を顕彰する全国の団体との交流活動を行っている。

▼きっかけは昭和59年。岸会長が参加していた青少年健全育成会の会議で「梶原山に広場がない」それなら「親子で汗を流そう!」と西奈中学生と共に草刈りやゴミ拾い、ハイキングコースの道標づくりが始まった。平成10年、市の公園として整備されることを機に、地域の賛同者の協力を得て「瀬名梶原会」を発足し今に至っている。

▼「親子で汗を流す」という目標は、親が子どもに道具の使い方や作業を教えるという発想が前提でスタートしたが「最近ではまず大人に鎌の使い方を教えなきゃならない」と笑う岸会長。大河ドラマの影響でこれまでにない盛り上がりを感じている今、景時ゆかりの地のマップや善行エピソードを集めたチラシの作成などにも奮闘している。

◇代表:岸 忍さん(問合せ・054-261-7867)

【情報提供・瀧 昌光】



コロナ禍により中学生との草刈りは中止している

掛川市

ボランティアで“仲間の輪・和”を広げよう!

葛ヶ丘地区まちづくり協議会
健康福祉部“お助け隊”



作業は1時間以内。スッキリした庭先にて

▼葛ヶ丘地区は昭和50年頃に住宅地として誕生し、現在620世帯が暮らしている。高齢化率が50%近いことから、日常的なちょっとした困りごとに住民同士で助け合う「お助け事業」を部会の健康福祉部が主となり、令和3年秋から本格的に始めた。利用料金無し、対象は80歳以上の独居宅だが、状況によって支援に駆けつけている。

▼事前アンケートでは15件程利用希望があったが、開始してみると慎重な住民が多いのか、実施したのは庭の手入れ2件。そこでPRのマグネットシートを対象者に配布したところ今年は8月の時点で、草刈りや庭の剪定とゴミ出しを主に、15回出動した。

▼ボランティア35人は7:3で男性が多く、平均年齢75歳。若い人の参加は早急の課題である。

▼この事業が始まったことで、ボランティア側の交流機会にもなっている。同年代の多い地区のため、退職後これを機に顔見知りとなり、仲間の輪・和が広がってきている。多くの住民が知り合い、助け合いの輪が広がっていくまちを目指していく。

◇代表:大野千比路さん(問合せ:090-1624-3297)

【情報提供・加藤和男】



菊川市

夏休み体験学習 おいしいお菓子作り

横地地区
生涯学習推進委員



アイシングクッキーに挑戦する親子

- ▼去る7月31日、菊川市横地地区センターにて「夏休み体験教室」が開催された。市内に本社・工場のある製菓会社の菓子職人が講師を務め、クッキーの表面に絵を描くアイシングクッキーとスポンジを使ったカップケーキ作り体験を行った。
- ▼小学1～6年生までの男子6人、女子15人がお菓子作りをやってみたいと集まった。コロナ禍により2年間中止となった夏休み体験教室が再開した時は「凄く楽しみにしていたので再開して嬉しい」と子どもたち。再開を心待ちにするあまり、地区センターに「今年は開催するの?」と聞きに来た子もいた。
- ▼平成20年、地域住民に生涯学習を推進することを目的に発足。子ども向け生涯学習は、飯盒炊爨や防災体験など20年以上前から実施している。津川委員長は「子どもに対する生涯学習は継続することが大事。喜んでくれる姿を見ると、また頑張ろうという気持ちになる」と話した。

◇委員長：津川広徳さん(問合せ・0537-35-3352(横地地区センター))

【情報提供・塩澤恵美】

森町

ぷらっとぶらっとふらっと来て!ぷぷふの日

森町ツーリズム研究会

- ▼森町の北部中山間地にある天方・三倉地区で、7月2日3日に3年ぶりの「ぷぷふの日」が開催された。地区内の神社やお寺、地元参加者の家(店)や工房等の個人・グループが交流の場を提供し、創作品・生製品の紹介や販売をするオープンハウスイベントで、田舎巡りを楽しみにしているリピーターも多い。
- ▼開催範囲が広域であることから、出店参加の家(店)の前には、のぼりが立っている。ドライブやサイクリングで周りながら、交流を楽しんでもらうのが特徴で、1軒につき平均6、70人が訪れる。中村町内会では総出で参加出店し、住民同士の交流の場にもなっている。今回は、町の定住推進課による「空き家見学ツアー」も同時に行った。
- ▼主催する「森町ツーリズム研究会」は、天方地区を拠点に地域振興に取り組む町民有志と行政からなる団体。移住定住支援や農産物のブランド化にも取り組んでいる。今年で10年目を迎え、出店者も高齢化し減少傾向。継続するために出身者や他地区の人にも協力してもらう方法はないかと模索している。



会場の1つ 日月神社で開催された歌声広場

◇代表：吉筋恵治さん(問合せ・090-5115-7838)

【情報提供・山田勝恵】

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます(アドレス <http://www.sizcom.jp>)



No.	市 町	活 動 名	主 催 者	趣 旨・目 的	情 報 提 供
1	伊東市	新しい「アートを軸としたデジタル産業拠点」へ～高校再編後の閉校舎活用～	伊豆高原まちづくり連絡会(準備会)	廃校となる城ヶ崎分校の校舎・備品等を活かしアート発信と地域交流、雇用創出等につなげる。	佐藤みつ子
2	沼津市	第2回収穫祭(SDGS 持続可能な農作物づくり)体験学習	コミねっと大平	休耕地を借りて、もち米づくりや花づくり、登山道の整備、駐車場の整備など毎年活動している。地域のイベントにも参加している。	室伏哲男
3	函南町	3年ぶりのゴミステーションクリーン作戦	ダイヤランド区民の会環境美化	住民一人一人のゴミ集積場に対する意識を高める。ルールを守ってゴミ出しをする。	虎尾恵美
4	裾野市	千福が丘アートサロン	千福が丘アートサロン	地域の文化と福祉に貢献しようと、自宅の1階をサロン、2階をギャラリーとして開放している。	志田忠弘
5	島田市	田舎暮らしを川根本町から発信するインターネットラジオ	田舎のラジオ「やんばいFM」	地方の魅力は「そこに住む人にある」と考え、一人ひとりが発信者になれる場所を作る。	村松遼太郎
6	掛川市	仲間と元気にグラウンドゴルフ暑いつけな	福寿会グラウンドゴルフ	仕事を退職した方、畑仕事をしている方たち等の交流と運動を兼ねて、心も体も元気に!	安藤ミエ
7	磐田市	豊島「みんなの農園」	磐田市豊島自治会	住民のコミュニティの場作りと親睦を深め、更に健康を保ち休耕地を有効活用する。	安部詠司

地域訪問記

団体の継続に着目し紹介します。



児童と一緒に
花の植え付け



学校の横を
流れる太田川。
幼・小一緒に
稚鮎の放流



ミシン学習の支援

幼稚園・小学校を応援するコミュニティ

今井幼・小応援する会（袋井市）

袋井市の太田川沿いに広がる今井地区（約1600世帯）で活動を行っている「今井幼・小応援する会」。今、各地で進められているコミュニティスクールの先駆けではないか？行政からの支援もなくどう学校と繋がれたのか？私自身も吉田町で子どもたちを育む活動をしている事から興味を惹かれ、取材先の今井コミュニティセンターを訪ねました。

地域で応援する

平成26年、夏の暑い中草取りをする幼稚園の先生の姿を見た会長が「何かできることはないか」とこの会の立ち上げを決意し、自ら幼稚園・小学校の門をたたきました。

施設的环境美化や花壇や菜園の管理、登下校の見守り等を会員にて行い、幼・小の先生には教育に専念してもらう環境を整えました。同級生を中心に声をかけて始まった活動も9年目を迎え、現在、49人のアクティブシニアが得意な技術や知識を活かして活躍しています。

月1回、会の役員と幼稚園園長、小学校校長、教頭が揃って打ち合わせをし、作物を育てることの大変さと収穫の喜びの体験、太田川の清掃活動や稚鮎の放流を行い、地域の大人との交流や命の大切さを教えています。令和3年度の活動は幼小合わせて40件で、コロナ禍により中止になったのは流しそうめんの1件。屋外とはいえ、子どもたちとの活動が厳しいコロナ禍で実施できているのは、先生方との信頼関係の厚さを感じずにはいられません。

喜びを力にして

やりがいや喜びを何うと、久野さんは「草刈りをしてきれいになると子どもたちも喜んでくれる」今川さんは「皆、

自分の孫の様に思う、名前で呼ぶ間柄になった」高塚さんは「学校と繋がりができ、感謝され嬉しい」と皆さん目じりが下がったお顔で話します。小学校の卒業式で「将来、応援する会に入りたい」と言ってくれた子がいたそうで、奥之山会長は「いずれ自分も一緒に活動したいと言う子どもが増えて欲しい」と目を輝かせていました。

4つのピースが作る和

「この地域の自慢の団体です」と自治会連合会長の金原さん。草刈りでの燃料代は学校が持ってくれるとはいえ、自己財源（年会費1000円）のみでの運営や活動の多さはなかなかマネできません。

幼稚園・小学校・コミュニティセンターが隣り合って建ち、活動の根源になっている事、園児47人・小学生214人でコミュニケーションが取りやすい人数である事、子どもや先生の為に活動したいという地元を愛する行動力のある仲間がいる事、そして何より授業中に草刈りの音が聞こえても、その姿を子どもたちに見せたいという学校の理解がある事。この4つのピースがお互いの形を大切にしながら和を作りあげていると感じました。

恵まれた環境を活かし、子どもたちの郷土愛の醸成と地域貢献という自己実現の場として更なる活躍を期待します。

◇代表：奥之山 隆さん（問合せ・0538-48-7172）

【情報提供：峰野 勇】



レポート：市川頼子 編集委員

令和4年度のコミュニティ育成事業は、13団体を指定しました。

それぞれの地域でコミュニティの活動をさらなる飛躍を期待します。10月から12月にかけて訪問指導を行います。

■下田市 山里会

■沼津市 愛鷹ローカルマーケット実行委員会

■裾野市 「ふれあい子どもカレー食堂」の会

■小山町 明倫地域まちづくり推進協議会

■静岡市清水区 NPO法人 ヒト・マチ・プロジェクト

■静岡市清水区 特定非営利活動法人 NPOサポート・しみず

■焼津市 ちいさなとしょかん 家庭文庫 もりのいえ

■袋井市 浅羽・笠原まちづくり協議会 生活支援ネットワーク

■磐田市 東新町サポートボランティアの会

■磐田市 豊島みんなの農園

■菊川市 エア・ピックス (AirPICS)

■浜松市中区 イズミウルトラキッズラボ

■浜松市西区 NPO法人 わたぼうしブランドデザイン

コミュニティしずおかの立役者!情報通信員を紹介しま〜す(後編)

この冊子は、県内各地で委嘱のお願いをした情報通信員に地域活動の情報を提供していただいております。本年度は26市町30人の皆さんに活躍していただきます。



藤枝市

手島克訓 さん

藤枝の「田舎暮らし体験」を提供しています。



島田市

村松遼太郎 さん

移住して7年!川根に関わりながらフリーのカメラマンやっています。



島田市

池田 弘 さん

趣味の館Audio House&被災時避難所を設置しました。



川根本町

山下光貴 さん

地域おこし協力隊です。観光の発展を目指して活動中!



吉田町

吉永優子 さん

コロナ禍でも楽しい話題をお届けします。



牧之原市

鈴木一行 さん

風光明媚な牧之原市の活動が届けられるよう頑張ります!



掛川市

加藤和男 さん

「ひと・ほんの庭 にこっと」にある大型天体望遠鏡で星を見る講師。



掛川市

安藤ミエ さん

手芸、観光ボランティア、グラウンドゴルフ等楽しんでいます。



袋井市

峰野 勇 さん

袋井のすばらしい活動を発掘、紹介していきます。



磐田市

安部詠司 さん

地域で地区長、66歳まだ会社勤めしています。



御前崎市

齋藤佳子 さん

御前崎の海と楽しい人たちが大好きです。ぜひ御前崎に遊びにいらしてください。



菊川市

塩澤恵美 さん

菊川市の魅力あふれる団体をご紹介します!



森町

山田勝恵 さん

森町をぐるぐるグルグル回って情報を集め発信!楽しいです。



浜松市

佐藤勝彦 さん

小さな活動を拾い上げ表に出てない団体を紹介してゆきたい。



湖西市

菅沼泰久 さん

湖西にゴーサイン!!



常務のつ・ぶ・や・き

行動制限が無かった今年の夏、出掛けないことが最大の防御と知りつつも、久しぶりの非日常の誘惑に駆られ、3年振りのイベントや都会の雑踏に足を踏み入れてみた。

しかし、日々伝わる第7波の新規感染者数に驚愕し、飲食の場でマスクを外して大声で会話する人がいれば、席一つ分でも遠くにずれたり扇子で煽いだりと身につけた防衛本能はフル稼働で、コロナ前の楽しさには程遠いものだった。

これからの行楽シーズン、県民割や地域クーポンなど誘惑は多い。コロナ対策の出口が経済との両立だとすれば、特効薬が市販されるまで気の抜けない日々が続くが、万が一の時に誰でも医療にアクセスできる道だけは公で確保しておいてほしい。自己責任では片づけられない。

コミネ一家



地域活動に関心のある方へ！ 募集します

※お問い合わせ、お申し込みは当協議会へ

★コミュニティ活動賞募集中！！

コミュニティづくりを通じて潤いと活力ある地域づくりに努力している地域の皆さんの活動を募集します。

応募の対象と条件についてはホームページをご覧ください。

優秀賞……賞状と副賞 3 万円

優良賞……賞状と副賞 1 万円

奨励賞……賞状



発表：令和 4 年 12 月初旬

★コミュニティづくりの基礎、話し合いの仕方を学んでみませんか

令和 4 年度 コミュニティカレッジ

対 象 コミュニティづくりに興味のある方

募集人数 40 人（先着順）

申込二次元コード



県内各地でまちづくり、地域づくりに活躍する方を講師に迎えました。

3 日目は、県内で活躍する 3 団体へ訪問研修、4 日目は企画書づくりと充実した内容となっております。

※ZOOM 参加可能（10/15、10/29 のみ）参加条件あり。

		10:00~12:15	13:00~15:00	会場
1	10/15 土	鼎談 「今、そして次の一歩を考える」 川口良子 氏 合同会社デザイン・アープ代表	アイスブレイク・講義 「私が変わる、地域が変わるコミュニティ」 平田 厚 氏 静岡福祉文化実践研究所長	静岡市民文化会館 B 展示室
2	10/29 土	講義 「これからのコミュニティ」 伊藤光造 氏 NPO 法人くらしまち継承機構 理事長	講義 「老若男女が担うコミュニティ」 池田恵子 氏 静岡大学教育学部教授	静岡市民文化会館 大会議室
3	11 月	11/9 (水) 明倫地域まちづくり推進協議会 (ふれあい活動) 11/17 (木) チームおもしろ五和駅 (地域活性) 11/20 (日) 高町第三日曜市場 (ふれあい活動)		現地
4	12/10 土	演習 「コミュニティ実施計画づくり」 望月誠一郎 氏 地域デザイン研究所長		シズウェル 601

★コミカレアフター研修会&東部リーディング開催！

～地域への誇りと愛着を醸成し 地域振興とコミュニティの活性化を図る～

日 時 10 月 22 日（土）13 時～16 時 30 分

会 場 沼津市原地区センター

対 象 コミカレ修了者等 参加費 無料

申込二次元コード



13:00	開会
13:20	事例発表 大平地区におけるコミュニティ活動発表
13:40	歴史文化セミナー 阿野全成と沼津
15:10	見学 阿野全成ゆかりの地
16:30	解散



コミネつと支部研修会

●中部支部

10 月 29 日（土）

10 時～15 時

会場：吉田町中央公民館

●西部支部

11 月 19 日（土）

10 時～14 時 30 分

会場：袋井市メロエプラザ



静岡県コミュニティづくり推進協議会 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 総合社会福祉会館3階

【TEL】054-251-3585 【FAX】054-250-8681 【URL】http://www.sizcom.jp 【E-mail】sizucum0829@po.across.or.jp

地域情報をお寄せ下さい！